



パーソルホールディングス株式会社

2024年2月14日（水）16:00-16:45 開催

FY2023 Q3 決算説明会 書き起こし

謹んで能登半島地震災害のお見舞いを申し上げます。



この度の令和6年能登半島地震により犠牲になられた方々に謹んでお悔みを申し上げるとともに、被災されました皆さま、ご家族の方々に心よりお見舞い申し上げます。

また、被災地におきまして救済と復旧・復興支援等の活動にご尽力されている方々に深く敬意を表し、救援活動、復興支援に役立てていただくため、日本赤十字社へ義援金を寄付いたしました。同様の主旨にて、当社グループ社員からも寄付を募集しております。

皆さまの安全と被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

【代表取締役社長 CEO 和田】

パーソルホールディングスの和田でございます。本日はお忙しい中お集まりいただき誠にありがとうございます。

まず、今年1月1日に能登半島で起きた地震の犠牲になられた方々に謹んでお悔やみを申し上げます。また、被災された皆様方には心からお見舞いを申し上げます。加えまして被災地におきまして復旧、救援、支援にご尽力されている方々に深く敬意を表したいと思います。また、今後、当社といたしまして救援活動、復旧支援にお役立ていただくために赤十字に義援金を寄付させていただきました。同様の趣旨で、当社グループ社員からも寄付を募集しております。皆様方の、被災地の方々の一日も早い日常の取り戻しを心からお祈り申し上げます。

ハイライト



1

FY2023* Q3決算概要 (IFRS)

*FY2023 : 2024年3月期を指す (以下同じ)

- 売上収益は9,906億円 (前年同期比+7.2%)、営業利益は409億円 (同△4.7%)、調整後EBITDAは534億円 (同△17.8%)
- 売上総利益は前年対比+5.7%と引き続き堅調

2

FY2023* 通期業績予想

- COVID-19収束後の著しく過熱感のあった人材需要は、落ち着きを取り戻しつつある
- 上記を受け、通期業績予想の営業利益を545億円から490億円、調整後EBITDAを755億円から690億円に

3

FY2023* 期末配当予想

- 期末配当予想は4.3円から変更なし
- 中計2026の配当方針 (配当性向 : 調整後EPSの約50%) を維持
 - 調整後EPSベースの配当性向は約50%の見込
 - EPS (調整前) ベースの配当性向は約65%の見込

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

3

今日のハイライトにつきましてご報告いたします。

1 点目は 3Q の決算概要、2 点目は通期業績予想、3 点目は期末の配当予想に関してご案内いたします。

3Q の売上収益でございますが、記載の通り 9,906 億円、前年比 7.2%と伸長しました。営業利益は 409 億、そして調整後 EBITDA は 534 億円。売上、売上総利益ともに前年比で成長しておりますが、営業利益や調整後 EBITDA に関しましては前年を下回っております。

その状況をふまえて 2023 年の通期業績予想を本日発表いたしました。

covid-19 の収束後、著しく過熱感のありました人材紹介事業が、一旦落ち着きを取り戻しております。そういった状況を受け、通期の業績予想、営業利益を 545 億円の当初計画から 490 億円に、そして調整後の EBITDA を 755 億円から 690 億円に修正いたしました。

3 点目の期末配当につきましては 4.3 円と変更ございません。中計 2026 の配当方針に則り、配当性向は調整後の EPS の約 50%の配当を見込んでおります。また、調整前の EPS ベースの配当性向は約 65%の見込みになっておりますこともあわせてご報告をさせていただきます。

それでは、3Q の決算概要につきまして、CFO の徳永よりご説明させていただきます。徳永さんお願いします。

FY2023 Q3累計 決算概要

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

【執行役員 CFO 徳永】財務担当の徳永でございます。それでは私から Q3 の決算概要について説明をいたします。よろしくお願いたします。

FY2023 Q3累計 決算概要（連結）

売上収益・売上総利益ともに堅調に拡大



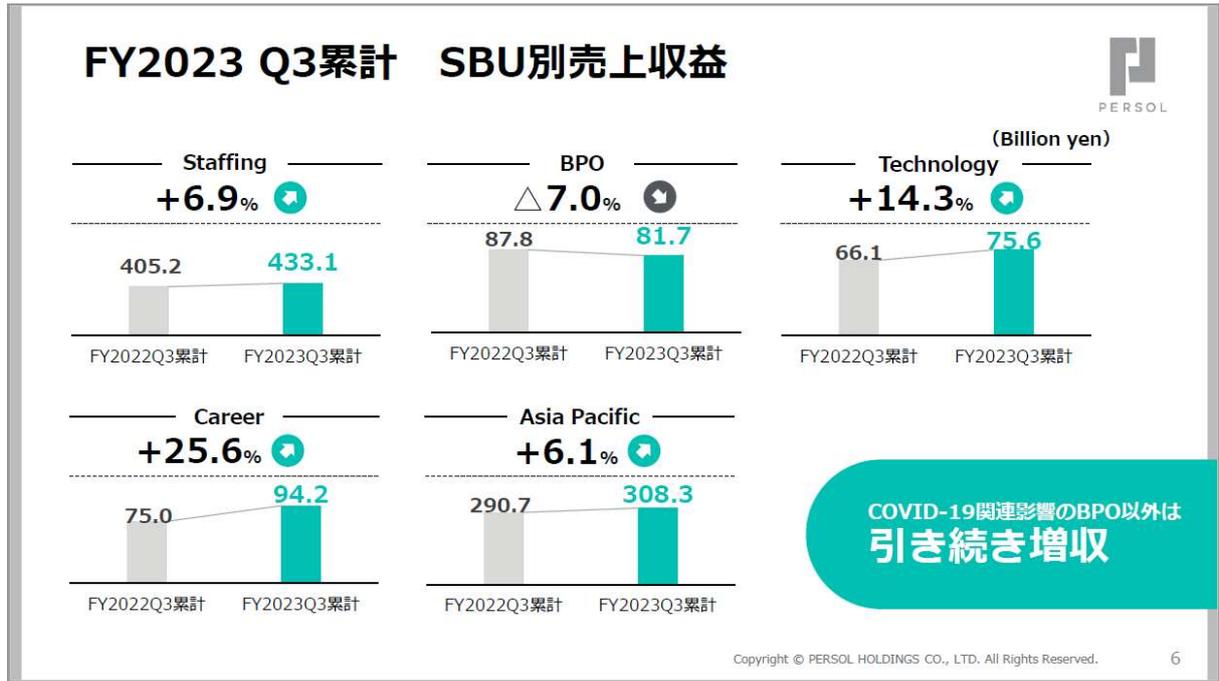
(Million yen)	FY2022 Q3累計実績*3	FY2023 Q3累計実績	前年同期比
売上収益	924,042	990,627	+7.2%
売上総利益	212,199	224,359	+5.7%
営業利益	42,955*4	40,921	△4.7%
営業利益率 (%)	4.6%	4.1%	△0.5pt
EBITDA	65,516	62,753	△4.2%
EBITDA Margin (%)	7.1%	6.3%	△0.8pt
調整後EBITDA	65,009	53,443	△17.8%
調整後EBITDA Margin (%)	7.0%	5.4%	△1.6pt
四半期利益*1	23,812	25,209	+5.9%
調整後四半期利益	35,223	28,298	△19.7%
調整後EPS (円)*2	15.30	12.41	△18.9%

*1 親会社の所有者に帰属する四半期利益 *2 2023/10/1付け株式分割後換算 *3 IFRSベース
*4 FY2022はAsia Pacific SBUで約89億円の減損損失を計上

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

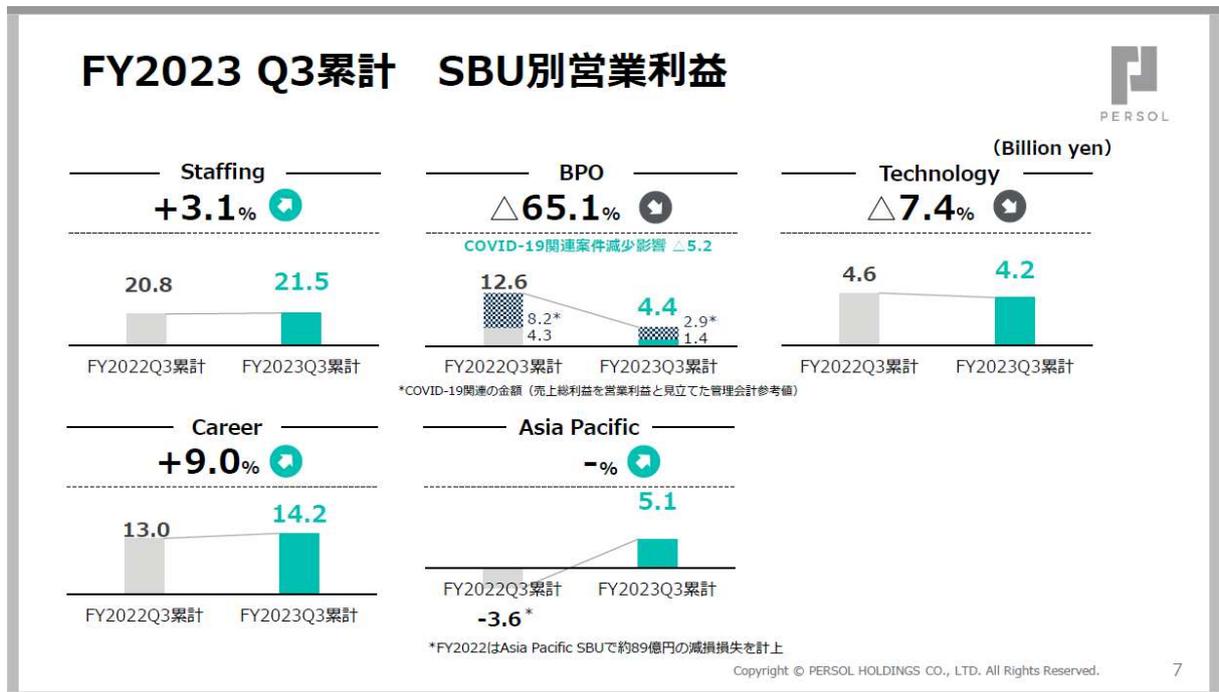
5

まず、連結全体の概要ですが、売上高につきましては 7.2%増の 9,906 億円、売上総利益につきましては 5.7%増の 2,243 億円でした。また、私どもが重要視しております利益指標の調整後 EBITDA につきましては、前年同期 17.8%マイナスの 534 億円でした。



続きまして、SBU 別の売上高の状況です。

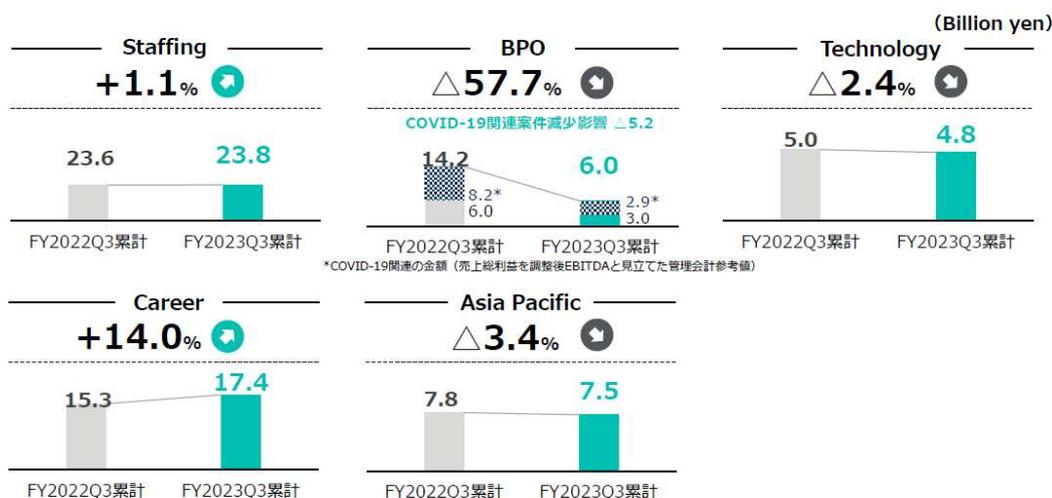
BPO-SBU につきましてはコロナの剥落がありますので前年同期比減収になっていますが、当社の主力の Staffing-SBU、そして今期の成長の柱の Career-SBU を含め、その他の SBU につきましては引き続き増収です。



続きまして、SBU 別の営業利益の状況です。

こちらもコロナの剥落がありますので、BPO-SBU につきましては減益でした。またこの後説明しますが、新卒、中途の採用を強化している Technology-SBU につきましても 7.4%の減益でした。一方で、Staffing-SBU、そして今期の成長の柱の Career-SBU、Asia Pacific-SBU はご覧の通り増益を達成しております。

FY2023 Q3累計 SBU別調整後EBITDA



Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

8

続きまして、SBU 別の調整後 EBITDA の状況ですが、こちらは先程の営業利益と同じようなトレンドですので、説明は省略をさせていただきます。

FY2023 Q3累計 営業利益の増減分析



売上総利益の成長は堅調



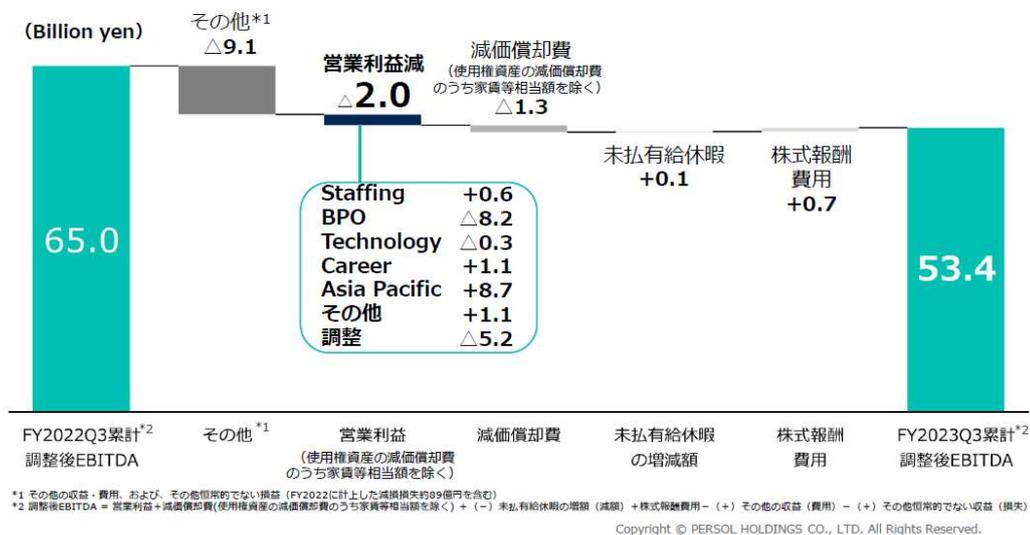
Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

9

続きまして、前年同期の営業利益の増減分析です。

まず、粗利は前年同期で 121 億円増加しました。主な要因は Career-SBU の増です。一方で、今年度から始まった中計の中で、人的資本投資、これは Career-SBU のコンサルタント、あるいは Career-SBU 以外の賃上げを含めた人的投資をしっかりとやっていこうということで、人件費が 155 億円増加しています。また、Career-SBU を中心にマーケティング投資をしっかりとやっていこうということで、広告宣伝費が 38 億円増えています。一方で、昨年の 10 月～12 月期の APAC-SBU での減損の影響は今期ありませんので、89 億円の増となり、409 億円になっております。

FY2023 Q3累計 調整後EBITDAの増減分析



続きまして、調整後 EBITDA の増減分析です。

先程の減損と営業利益で約 110 億円の影響がありました。それ以外に減価償却費、そして未払有給休暇負債、株式報酬の影響がありますが、総じて大きな前年同期比の影響はなかったと理解しています。

この後、3 ページ、売上高、そして営業利益、調整後 EBITDA を一覧表にしておりますので、この後ご覧になっていただければと思います。

FY2023 第3四半期 SBU別決算概要

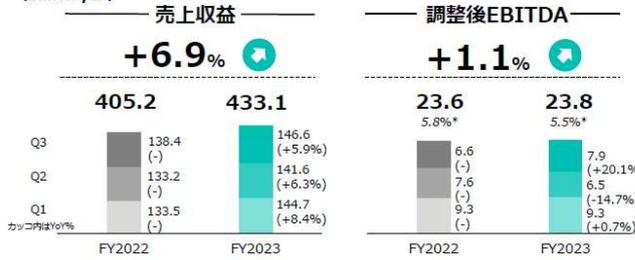
続きまして、SBU 別の足元の状況、事業トピックスについて説明をいたします。

SBU別Q3決算概要 –Staffing SBU–

増収増益。増収に伴う粗利増およびコスト最適化も寄与



(Billion yen)



売上増減分析	%	FY2023 Q別			
		Q1	Q2	Q3	Q4
売上収益	YoY	+8.4	+6.3	+5.9	
派遣売上					
就業者数	千名	+6.4	+5.1	+3.5	
平均請求単価	円	+2.6	+2.7	+2.9	
就業日数	日	+1.5	-	+1.5	
就業時間*1	時間	-0.1	+0.3	-0.2	
その他売上増減等	千円	-2.0	-1.8	-1.8	
受託請負売上	千円	-0.5	-0.6	-0.6	
その他	千円	-1.5	-1.2	-1.2	

四半期（2023年10～12月）コメント

- 売上収益は就業者数増、平均請求単価上昇に伴い YoY +5.9%の増収
- 調整後EBITDAは増収に伴う粗利増および売上販管費率の低減に伴い YoY +20.1%の増益

売上総利益率 FY2022 16.2% → FY2023 16.6%
 売上高販管費率 12.2% → 11.9%

KPI	単位	FY2023				FY2022 (参考)			
		Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
派遣KPI									
就業者数	千人	121	122	124		113	116	119	121
平均請求単価	円	2,263	2,267	2,274		2,201	2,202	2,204	2,215
就業日数	日	62	59	61	58	61	59	60	60

就業者数 : 毎月1営業日時点の長期派遣就業者数 ※長期=3ヶ月以上契約
 平均請求単価 : 対象期間における派遣契約の請求単価 (長期・短期・単発)
 就業日数 : (Staffing SBU共通) 休日・平日日数から計画的有給日数を除いた日数
 就業時間*1 : パーソルシステムズ株式会社における対象月にある派遣契約 (長期・短期・単発) の平均実働時間 (時間内・時間外のみ集計)

まず、当社の主力のSBUのStaffing SBUです。

売上高は6.9%増、調整後EBITDAは1.1%の増です。また、スタッフの増につきましては、少し小さな字ですが前年同期比3.5%増、請求の単価につきましては2%強の増です。

足元10月～12月期の状況ですが、昨年の10月から社会保険のコストアップがあり粗利が低下しておりましたが、ちょうど1年経ったということで、左下の方に書いてありますが、昨年の10月～12月期の粗利率16.2%から、足元では16.6%まで改善しています。

事業トピックス : Staffing SBU 1/2



5年連続 派遣会社満足度ランキング1位

▶「派遣スタッフが選ぶ！派遣会社満足度ランキング2023」5年連続 総合満足度ランキング1位

～ 初めて継続就業意向度ランキング1位との2冠を獲得～

2023年12月26日、パーソルテンプスタッフは、エン・ジャパンが運営する『派遣の働き方研究所』発表の「派遣スタッフが選ぶ！派遣会社満足度ランキング2023」において、“5年連続 総合満足度1位”および“初 継続就業意向度1位”の2冠を獲得しました。



今後も派遣スタッフの方が安心して働き続けることができるよう伴走し、キャリア支援を行うとともに、派遣先企業にもより良い人材サービスを提供してまいります。

詳しくは[こちら](#)

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

16

Staffing ビジネスの事業トピックを2つ紹介したいと思います。まず1つめは、エン・ジャパン様が調査されております派遣ビジネスのランキングで、総合満足度ランキング1位に加えまして、今回は継続意向ランキングでも1位を獲得することができました。スタッフの皆様の満足度の向上というのは、私どもにとって中長期的に企業価値を高める、まさに柱の部分です。引き続き満足度の向上に努めてまいりたいと考えております。

事業トピックス : Staffing SBU 2/2



バイオ技術者の育成

▶バイオ医薬品の技術者育成研修を開始

～国内唯一のバイオ医薬研修を提供するBCRETと連携～

パーソルテンプスタッフは、日本で唯一のバイオ医薬品の研修を提供する一般社団法人バイオリジクス研究・トレーニングセンター（BCRET）と連携し、2023年8月よりバイオ医薬品に特化した技術者を育成する研修を開始しました。



国内の高度バイオDX産業人材の育成とバイオものづくり産業の振興に貢献します。

詳しくは[こちら](#)

理系人材の育成・キャリア支援

▶「基礎化学実験の体験会」を定期開催

～SUNATECと協働、化学実験スキルの向上を目指す～

パーソルテンプスタッフは、一般財団法人食品分析開発センターSUNATEC（三重県四日市市）と協働し、2024年2月27日より、未経験でも楽しく学べる「基礎化学実験の体験会」を定期的に開催します。



地域の理系人材の発掘・育成と雇用の創造、ものづくり産業の発展に貢献します。

詳しくは[こちら](#)

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

17

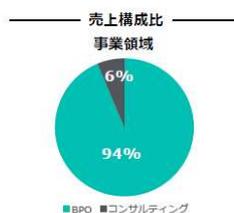
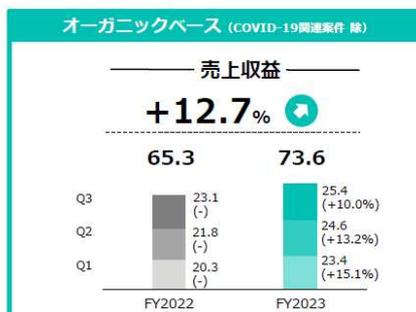
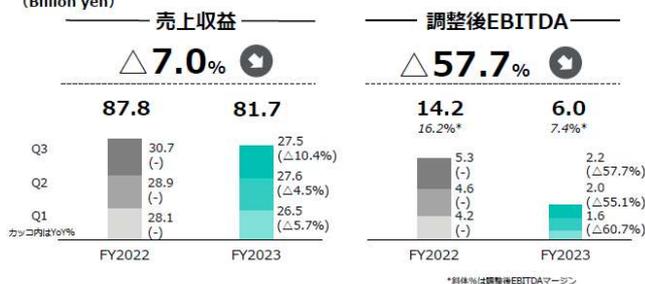
2つめの Staffing SBU のトピックですが、私どもの企業理念、ミッションとして、雇用の創造があります。ここに書いている通り、例えばバイオ技術者の育成ですとか、理系の人材の育成についても、これまでやってきましたが、引き続き強化をしたいと考えております。

SBU別Q3決算概要 -BPO SBU-

COVID-19関連案件剥落あるものの、オーガニックベースの収益は引き続き増収



(Billion yen)



オーガニック増減	単位	FY2022				FY2023			
		Q1	Q2	Q3	Q4*	Q1	Q2	Q3	Q4*
売上収益	M.JPY	28,132	28,931	30,777	29,244	26,520	27,617	27,569	
オーガニック ²⁾	M.JPY	20,378	21,802	23,178	24,769	23,461	24,685	25,485	

*1 FY2022 Q4 Unaudited
 *2 COVID-19関連案件 概算額を差し引いて算出

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

18

続きまして 2 つめの SBU、BPO SBU です。

BPO SBU につきましてはコロナの剥落がありますので、売上につきましては 7%減、調整後 EBITDA につきましては 57%減ということで、1Q、2Q との傾向は変わっておりません。一方でコロナを除くオーガニックなサービスにつきましては、ご覧の通り 12.7%の増ということで、好調な状況です。

事業トピックス : BPO SBU



地方自治体との連携

▶神戸市内経済の活性化と雇用を創出する364席の新拠点「神戸三宮BPOセンター」を開所

さまざまなはたらき方を
 ~ 推進することで地域の発展に貢献します ~



神戸三宮BPOセンターでは企業や自治体から受託した人事・総務、経費精算、営業事務や行政に關わる事務業務などの案件を運用する予定となっており、BPRの視点でデジタル導入を推進しながら、高品質なBPO運用を目指してまいります。

地方創生の取り組みにおける受賞

▶内閣府主催「地方創生テレワークアワード」にて地方創生担当大臣賞を受賞



(内閣府地方創生推進室提供)

「地方創生テレワークアワード」における、企業などの「地方創生テレワーク」を促すことに取り組む企業・団体・自治体などを表彰する「地方創生テレワーク促進支援 部門」にてワーケーション推進に寄与する企業向けプログラムの提供実績などが評価され地方創生担当大臣賞を受賞しました。

地方自治体の業務を受託

▶栃木県那須町にて、空き家調査業務をテクノロジーを活用し効率化



栃木県那須町内の空き家調査における業務プロセスの改善と省力化を目的に、ドローンを活用した空き家特定および外観調査の実証実験を行いました。実証にて得られたデータを分析・取りまとめ、業務プロセスの整理、マニュアルの整備を行い、空き家調査業務の効率化と空き家の早期発見の仕組みの構築を図っています。

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

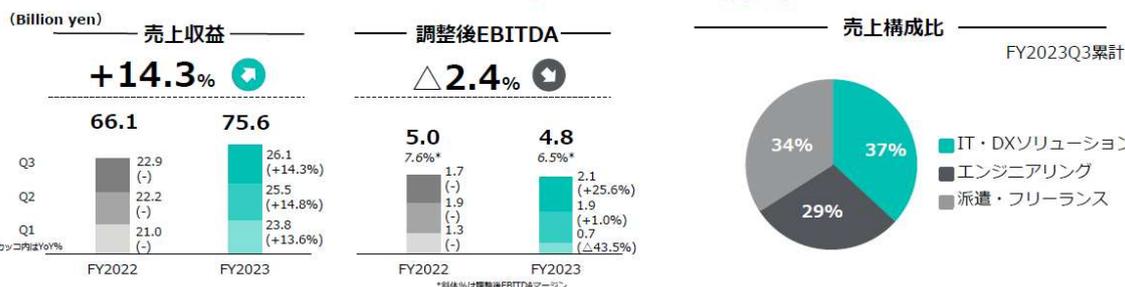
19

BPO SBU のトピックを 3 つ挙げております。BPO につきましては公共のお客様向けのサービスと、民間のお客様向けのサービスがありますが、今回は地方自治体と連携している 3 つの事例を挙げています。時間の関係で 1 つだけご紹介させていただくと、神戸三宮に BPO センターを開設し、主に公共サービスの BPO サービスを強化していきたいと考えております。

SBU別Q3決算概要 –Technology SBU–



新卒の稼働開始等によりSBU全体の稼働率が3Q末91.9%へ改善 (QoQ+2.0%)



四半期（2023年10～12月）コメント

- | | |
|--|---|
| <p>IT・DXソリューション</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 旺盛なDX需要を背景に堅調 ■ エンジニア数（四半期末）：3,160人（前年同期比+15.5%） ■ 稼働率（四半期末）：89.1% ■ Q3平均売上単価/月（BP含む、3か月）：1,065千円 <p>派遣・フリーランス</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ IT領域・エンジニアリング領域共に堅調も、派遣エンジニア数は単価向上施策のためのリソース配分の影響によりYoYで微減 ■ 派遣エンジニア数(就業人数、四半期末)：4,780人（前年同期比△0.3%） ■ Q3平均派遣請求単価（3か月/時間あたり）：3,890円 | <p>エンジニアリング</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 需要が引き続き堅調 ■ エンジニア数（四半期末）：3,310人（前年同期比+7.9%） ■ 稼働率（四半期末）：94.1% ■ Q3平均売上単価/月（BP含む、3か月）：815千円 <p>エンジニアの採用状況（SBU全体）</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ Q3までの採用数は955名（前年同期比+51.8%、うち新卒採用数は481名） ■ 2025年度の新卒採用をスタート、計画に対し順調に推移 |
|--|---|

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

20

続きまして Technology SBU です。

Technology SBU につきましては、右側のパイチャートにもありますとおり、IT ソリューション、機械、電気のエンジニアリング、そしてエンジニア派遣という、3つのサービスで構成をされています。この事業につきましては、主な KPI がエンジニアの採用数を増やすこと、そしてエンジニアの稼働率を高めること、そして請求単価を上げるという、この3つが大きな KPI ですが、今年度 3Q までに 955 名の採用しエンジニアの数を増やしております。具体的には、IT 分野につきましては前年同期比 15%増の 3,160 名、そして機械、電気のエンジニアにつきましては 7.9%増の 3,310 名という状況です。稼働率につきましても、IT が 89%、エンジニアが 94%、平均して 3Q 末で 91.9%ということで、前四半期から 2%の稼働率の改善をしております。稼働率の改善が調整後 EBITDA の改善にも繋がっており、3Q は前年同期比(QoQ)で大きく増益することができました。

事業トピックス： Technology SBU



パーソルクロステクノロジーが新たに3オフィスを開所、Technology SBUで全国24拠点に

各地域のお客さまへのエンジニア派遣・技術サービス支援を強化し
エンジニアの“はたらくWell-being”の創造に寄与



Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

21

Technology SBU のトピックについて 1 つご紹介いたします。こちらの SBU は、法人のお客様との接点、そしてエンジニアの採用をするため拠点数を増やすということが非常に重要だと認識しており、従来開設していなかった仙台や広島にも拠点を開設して、お客様、あるいはエンジニアの皆様との接点を増やしているという状況です。

SBU別Q3決算概要 –Career SBU–



(Billion yen)

売上収益

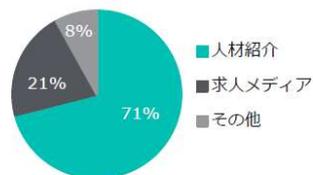
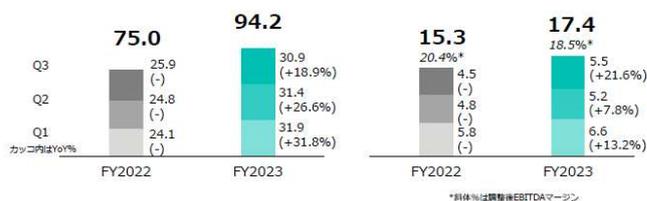
+25.6%

調整後EBITDA

+14.0%

売上構成比

FY2023Q3累計



四半期（2023年10～12月）コメント

人材紹介

- YoY約15%の増収
- CA等のHeadcount (HC) *は、当Q3平均2,304名 (YoY+25%)
- 生産性 (売上収益÷HC) は、当Q3平均2,574千円 (YoY△6%)

転職市場動向

- COVID-19収束後の著しく過熱感のあった人材需要が落ち着きを取り戻しつつあり、転職希望者の動きも鈍りなどを背景に鈍化傾向

求人メディア

- YoY約20%の増収

*Career Advisors, Recruiting Advisors, Project Agents等の総数

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

22

続きまして、今年度の成長の柱の Career SBU です。

左側の売上高の状況を見ていただくと、前年対比で 25%の増です。3Q に入り若干成長が緩くなっていますが、それでも 18%を超える売上高の成長をしております。調整後 EBITDA につきましても前年対比で 14%増の 174 億を達成しております。

今年度の Career SBU の施策として、Career コンサルタントの増強、そしてマーケティング投資をしておりますが、昨年度の 3Q 末対比で 25%増の 2,300 名強のコンサルタント数です。一方で、コンサルタントの生産性がマイナス 6%と少し下がっていますので、引き続き生産性を高めるような施策をとっていきたく考えています。

事業トピックス : Career SBU



2年連続「働きがい認定企業」に

▶2024年版「働きがい認定企業」に選出

働く人へのアンケートの結果を基に、「働きがいのある会社」であることをGreat Place to Work® Institute Japanが認定。当社はお互いに思いやりのある会社である点が評価され、昨年引き続き選出。



詳細は[こちら](#)

「職業紹介優良事業者」認定取得

▶「dodaエージェントサービス」が「職業紹介優良事業者」認定を取得

2023年10月に「dodaエージェントサービス」が、職業紹介事業の健全な競争および求人者と転職希望者の適切なマッチングの促進を目的とする厚生労働省委託事業「職業紹介優良事業者認定制度」により「職業紹介優良事業者」と認定。



詳細は[こちら](#)

東京都女性活躍推進大賞「優秀賞」を受賞

▶ライフイベントとの両立やヘルスリテラシー向上の取り組みが評価

「令和5年度 東京都女性活躍推進大賞」の事業者部門にて「優秀賞」を受賞。育休ウエルカムバック制度、管理職育児体験、女性のヘルスリテラシー向上に対する取り組みなどが評価されました。



詳細は[こちら](#)

Carrer SBU のトピックスについて 3 つご紹介しておりますが、時間の関係で一番右の、東京都の女性活躍推進大賞を受賞したことをご紹介いたします。当社の Career SBU においては、社員の半分以上が女性で占められており、従来から女性の働きやすい環境に向けて整備をしておりますが、今回東京都からご評価いただき優秀賞を受賞することができました。引き続き女性の皆様が活躍できるような環境を作っていきたいと考えております。

SBU別Q3決算概要 –Asia Pacific SBU–



(Billion yen)

売上収益

+6.1%



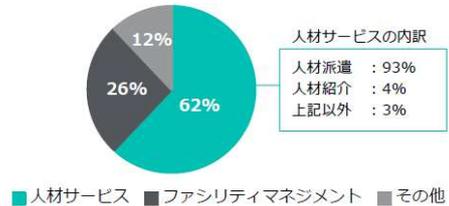
調整後EBITDA

△3.4%



売上構成比

*今期より個社別から事業別へ変更 FY2023Q3累計



人材サービスの内訳

人材派遣 : 93%
人材紹介 : 4%
上記以外 : 3%

*1 割合%は調整後EBITDAマージン
*2 前Q3は一過性の収益あり

四半期（2023年10～12月）コメント

人材サービス

- 人材紹介は一部の国で低調だったものの、人材派遣は各国概ね堅調に推移
- 人材紹介のHC（コンサルタント数）は当Q3平均1,167名

その他

- マレーシアのシェアードサービスセンター活用等が進み、中計2026の通り順調にコストを削減

ファシリティマネジメント

- 空港、水道、学校など幅広い施設の管理、維持、補修を行うファシリティマネジメント事業は順調に成長

注1. これまで3か月ずれたった連結財務諸表への取込情報が、FY2023よりIFRS移行を機に同タイミングに変更
2. 換算レート【米ドル（PERSOLKELL1）】 FY2022 Q3：136.5円、FY2023 Q3：143.3円
【豪ドル（Programmed）】 FY2022 Q3：93.3円、FY2023 Q3：94.3円

最後は Asia Pacific SBU です。Asia Pacific SBU は、右側のパイチャートにも書いてありますが、約 6 割が人材サービス、そして 26%が主にオーストラリアで展開しておりますファシリティマネジメントサービスで構成をされています。業績としては前年対比で売上が 6.1%増と堅調な状況でした。調整後 EBITDA につきましては、昨年度の 10～12 月期にオーストラリアにおいて一過性の売上がありましたので、調整後 EBITDA は若干昨年度マイナスですが、全体としては堅調な状況です。

(参考) Asia Pacific SBU業績内訳 (PERSOLKELLY、Programmed)



(Million yen)	FY2022 Q3	FY2023 Q3	前年同期比	FY2022 Q3累計	FY2023 Q3累計	前年同期比
売上収益	99,099	105,139	+6.1%	290,749	308,363	+6.1%
PERSOLKELLY	24,224	26,983	+11.4%	70,711	79,057	+11.8%
Programmed	74,525	77,366	+3.8%	219,685	227,435	+3.5%
営業利益	△5,790*3	1,692	-%	△3,615*3	5,156	-%
PERSOLKELLY	1,182	340	△71.3%	2,619	1,738	△33.6%
Programmed	△6,517*3	1,760	-%	△5,420*3	4,571	-%
調整後EBITDA	3,196	2,218	△30.6%	7,835	7,565	△3.4%

注1. 当SBUは、「PERSOLKELLY」「Programmed」の他に、事業を管掌する本部機能等で構成されております。上記内訳において、当該本部機能等の実績は省略しており、合計は一致しません。
 2. 為替レート 【米ドル (PERSOLKELLY)】 FY2022 Q3 : 136.5円、FY2023 Q3 : 143.3円
 【豪ドル (Programmed)】 FY2022 Q3 : 93.3円、FY2023 Q3 : 94.3円
 3. 減損損失約89億円を含む

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

25

こちらのページで、PERSOLKERRYと、オーストラリア、ニュージーランド中心のProgrammedの前年の3Qの売上、営業利益、調整後 EBITDA、そして 3Q 累計の売上、営業利益、調整後 EBITDA を記載しております。先ほど申し上げましたが、昨年の 10 月～12 月期で、オーストラリアで 89 億円の減損がありましたので、営業利益はマイナスになっていますが、全体としては今期大きな問題はないということにご留意いただけたらと思います。

事業トピックス : APAC SBU



APAC インダストリー・アワード受賞

▶ 人材派遣・紹介業界のリーダーとして評価

PERSOLKELLYシンガポールは、情報通信技術(ICT)の世界的リーダーであるフォーウェイからゴールド・サプライヤー・アワードを受賞しました。この賞は、Huawei社に高品質なHRサービスを提供した当社の卓越したパフォーマンスが評価されました。当社は10年以上にわたってHuawei社のパートナーとして信頼されています。

PERSOLKELLYシンガポールは、COVID-19レジリエンス・アワードも受賞しました。シンガポールでのCOVID-19との闘いの直接的かつ多大な貢献が表彰されました。

PERSOLKELLY香港は、HRベンダー・オブ・ザ・イヤー2023アワードで表彰されました。ベスト・ピープル・フォーカス・CXO賞、プレミアム・サービス・エージェンシー賞、リクルートメント・エージェンシー・オブ・ザ・イヤーを受賞しました。

これらは、PERSOLKELLYの包括的アプローチが評価されたもので、あらゆる規模、業種、職務レベルの企業に完璧なサービスを提供することを可能にしています。



PERSOLKELLY Koreaは、「2023大韓民国サステナブル・マネジメント・アワード」の社会部門で最優秀賞を受賞し、重要なマイルストーンを達成しました。ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョンの価値観を実行するための革新的なアプローチが評価されたもので、特に障害者雇用制度の見直しや、グローバル企業とのコラボレーションによるオーダーメイドの教育・採用プログラムが評価されました。

P-Servは、2023年上半期のチャンギ・エクストラ・マイル・アワードを12回以上受賞しました。この賞はチャンギ・エアポート・グループ(CAG)が、優れた顧客サービスを提供した従業員に贈るものです。

Programmed Skilled Workforceは、2023 SEEK Annual Recruitment Awardsにおいて、ラージ・リクルートメント・エージェンシー・オブ・ザ・イヤーおよびダイバーシティ、エクイティ&インクルージョンの顕著な進捗に対して贈られる賞を受賞し、業界全体から高く評価されました。

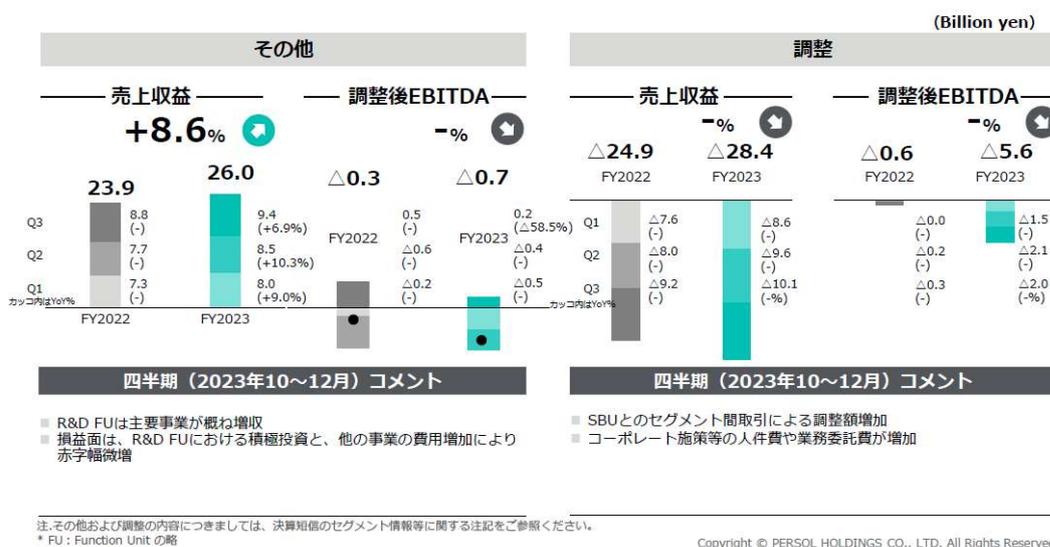
これは、顧客サービス、テクノロジーによる業界の進歩、そしてダイバーシティ&インクルージョンの継続的な取り組みに対する私たちのコミットメントが高く評価されたものです。私たちは、今後これをさらに発展させていきます。

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

26

シンガポール等その他の国でも様々な賞を受賞しておりますが、今回時間の関係でご説明は割愛したいと思います。

SBU別Q3決算概要 - その他・調整 -



最後に、その他と調整です。その他は昨年対比で 8.6%、主に R&D の事業で売上が増えています。また、右側の調整で、調整後 EBITDA の方のマイナスが 56 億になっていますが、前回 2Q にもご説明したとおり、こちらは SBU 間のセグメント間調整の増によるものですので、大きな支出の増加ということではありません。

事業トピックス : R&D FU



ミイダス

ミイダス

- はたらく人ファーストアワード開催
(共催: ミイダス 朝日新聞社/後援: 経済産業省)
- 賛同企業: 1,224社
- 「はたらく人」一人ひとりを「ファースト」に考えていきたい、という思いをもった企業を称えるアワードです。本アワードを通じ、従業員を大切にしている企業の取り組みを発信していくことで、すべての企業において、より「はたらく人ファースト」なはたらき方を推進していくことを目指します。



シェアフル

シェアフル

- 「スキマ時間に働きたい」を叶える単発バイト・短期バイトが探せるお仕事紹介アプリ。500万ダウンロード突破!
- グループ内で立ち上げた SaaS型シフト管理サービス『Sync Up (シンクアップ)』と事業統合
- 人材不足を解決するサービスにシフト管理を掛け合わせることでさらなる業務の効率化に寄与




R&D につきまして、2 つ事業トピックを共有させていただきます。まず、中堅、中小企業向けの人材サービスを展開するミイダスと、隙間バイトのシェアフル、この 2 つを推進しておりますが、特にシェアフルにつきましては 500 万ダウンロードを突破することができました。私どもとしては、この隙間時間の単発バイト、短期バイトについて、引き続き強化していきたいと考えております。

事業トピックス：パーソル総合研究所



10冊目となる新著が2月に発刊 当社は、シンクタンクを中心に、組織・人事コンサルティング、人材開発・組織開発といった事業を展開。シンクタンクでは、調査研究成果の発信にも注力。

2024年2月新著 発刊



罰ゲーム化する管理職
バグだらけの職場の修正法

小林 祐児 著

高い自給率、高い給与、育たぬ後任、辞めていく女性と若手……。社会問題ともいえる日本の管理職の異常な「罰ゲーム化」を、国際比較を含む多数のデータで分析。背景と原因を描き出し、解決策を提案します。経営課題として「管理職の活性化」に留む経営層にも、増え続ける負荷に耐える現場の管理職にも役に立つ、今日から使える知恵とヒントにあふれた一冊です。

パーソル総合研究所の書籍



光文社
2023/3/15発行

小林 祐児 著



日経BP 日本経済新聞出版
2023/2/17発行

佐々木 聡 著



中央公論新社
2023/2/10発行

藤井 薫 著



幻の会前書
2022/3/30発行
小林 祐児 著



日本のジョブ型雇用
誤解を解き、職実解を提示
2021/11/9発行
パーソル総合研究所 著・編集



CAREER CHANGE
転職
2021/4/1発行
中塚 淳、小林 祐児、パーソル総合研究所 著



会社人生後悔しない40代からの仕事術
2018/12/20発行
石山 佳貴、パーソル総合研究所 著



残業学
2018/12/12発行
中塚 淳、パーソル総合研究所 著



アルバイトパート採用育成入門
2016/10/28発行
中塚 淳、パーソルグループ 著

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

29

最後に、当社のシンクタンク、パーソル総研におきまして書籍を発刊しました。人材開発、あるいは人的資本投資等のコンサルティングもしておりますので、ぜひご覧になっていただけたらと思います。

以上、私から SBU 別の業績、そして事業トピックについて説明をいたしました。

FY2023 通期業績及び期末配当予想

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

【代表取締役社長 CEO 和田】

それでは、通期業績、及び期末の配当予想に関しましては私の方からご報告させていただきます。

FY2023 通期業績予想概要（連結）^{*1}



COVID-19収束後特需の一服感を受け、通期業績予想を修正

(Million yen)	FY2022 実績 ^{*2}	FY2023 前回予想	前期比	FY2023 今回予想	前期比
売上高	1,242,611	1,340,000	+7.8%	1,314,000	+5.7%
営業利益	42,754	54,500	+27.5%	49,000	+14.6%
営業利益率 (%)	3.4%	4.1%	+0.6pt	3.7%	+0.3pt
調整後EBITDA	75,277	75,500	+0.3%	69,000	△8.3%
調整後EBITDA Margin (%)	6.1%	5.6%	△0.4pt	5.3%	△0.8pt
当期純利益 ^{*3}	22,761	33,500	+42.2%	29,400	+29.2%
調整後当期純利益	39,544	39,000	△1.4%	38,400	△2.9%
EPS (円)	9.94	-	-	12.89	+29.7%
調整後EPS (円)	17.22	17.14	△0.5%	16.83	△2.3%

^{*1} 為替レート【米ドル (PERSOLKELLY)】 FY2022 実績：135.5円、FY2023 前回予想：130円、FY2023 今回予想：143円
【豪ドル (Programmed)】 FY2022 実績：92.7円、FY2023 前回予想：90円、FY2023 今回予想：94円

^{*2} 概算値 (未監査) ^{*3} 親会社株主に帰属する当期純利益

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

31

通期業績予想を修正しております。

売上高は1兆3,140億円に、営業利益は490億円に、調整後EBITDAを690億円、そして調整後当期純利益を384億円、調整後EPSを16.83円といたしました。

FY2023 通期業績予想 SBU別 売上収益



(Million yen)	FY2022 実績*2	FY2023 前回予想	前期比	FY2023 今回予想	前期比
連結	1,242,611	1,340,000	+7.8%	1,314,000	+5.7%
Staffing	544,740	597,000	+9.6%	574,000	+5.4%
BPO	117,085	104,000	△11.2%	109,000	△6.9%
Technology	90,987	102,000	+12.1%	102,000	+12.1%
Career	104,467	137,000	+31.1%	128,000	+22.5%
Asia Pacific*1	386,410	399,000	+3.3%	403,000	+4.3%
その他	32,213	39,000	+21.1%	35,000	+8.6%
調整	△33,295	△38,000	-	△37,000	-

*1 為替レート【米ドル (PERSOLKELLY)】FY2022 実績：135.5円、FY2023 前回予想：130円、FY2023 今回予想：143円
【豪ドル (Programmed)】FY2022 実績：92.7円、FY2023 前回予想：90円、FY2023 今回予想：94円

*2 概算値 (未監査)

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

32

通期業績の SBU ごとのご案内をさせていただきます。

SBU では、特に Staffing の売上が 5,970 億円から 5,740 億円に、230 億円修正しております。それから、Career の売上を 1,370 億円から 1,280 億円に 90 億円の修正を、その他の領域で 40 億の修正としております。なお、Technology SBU や APAC に関しては計画通りの推移をしておりますし、BPO につきましては 1,040 億円から 1,090 億円と修正をいたしました。

FY2023 通期業績予想 SBU別 調整後EBITDA、調整後EBITDA Margin



(Million yen)	FY2022 実績*2	FY2023 前回予想	前期比	FY2023 今回予想	前期比
連結	75,277	75,500	+0.3%	69,000	△8.3%
	6.1%	5.6%	△0.4pt	5.3%	△0.8pt
Staffing	26,727	31,100	+16.4%	28,900	+8.1%
	4.9%	5.2%	+0.3pt	5.0%	+0.1pt
BPO	17,827	9,600	△46.2%	8,600	△51.8%
	15.2%	9.2%	△6.0pt	7.9%	△7.3pt
Technology	6,343	6,800	+7.2%	6,200	△2.3%
	7.0%	6.7%	△0.3pt	6.1%	△0.9pt
Career	20,142	27,100	+34.5%	24,800	+23.1%
	19.3%	19.8%	+0.5pt	19.4%	+0.1pt
Asia Pacific*1	7,659	10,200	+33.2%	9,900	+29.2%
	2.0%	2.6%	+0.6%	2.5%	+0.5pt
その他	△1,460	△600	-	△1,700	-
調整	△1,962	△8,600	-	△7,700	-

*1 為替レート【米ドル (PERSOLKELLY)】FY2022 実績：135.5円、FY2023 前回予想：130円、FY2023 今回予想：143円
【豪ドル (Programmed)】FY2022 実績：92.7円、FY2023 前回予想：90円、FY2023 今回予想：94円

*2 概算値 (未監査)

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

33

次の調整後 EBITDA についてご報告します。

Staffing SBU は 311 億円から 289 億円、BPO は 96 億円から 86 億、Technology は 68 億円から 62 億円に、Career は 271 億円から 248 億円、APAC は 102 億円から 99 億円と修正しております。

我々が今感じているマーケット感につきましては、大手企業からの発注にまだら感が出ているという状況です。特に派遣事業での中堅、中小企業の需要は引き続き旺盛ではありますが、大手からのまだら感があると。また、人材紹介事業におきましては、マーケットが下期に入り一服感があると認識をしております。これはコロナ後の採用については非常に旺盛なニーズがあったものが、一服感が今起きているのかもしれない、という認識です。加えて、今までの積極採用から厳選採用へのシフトをしている企業が多いというのが実感です。

また、企業の賃金アップやその他の積極的な企業様の人材確保の動きが出ており、求職者の方々の動きも少し鈍化しているような実感です。

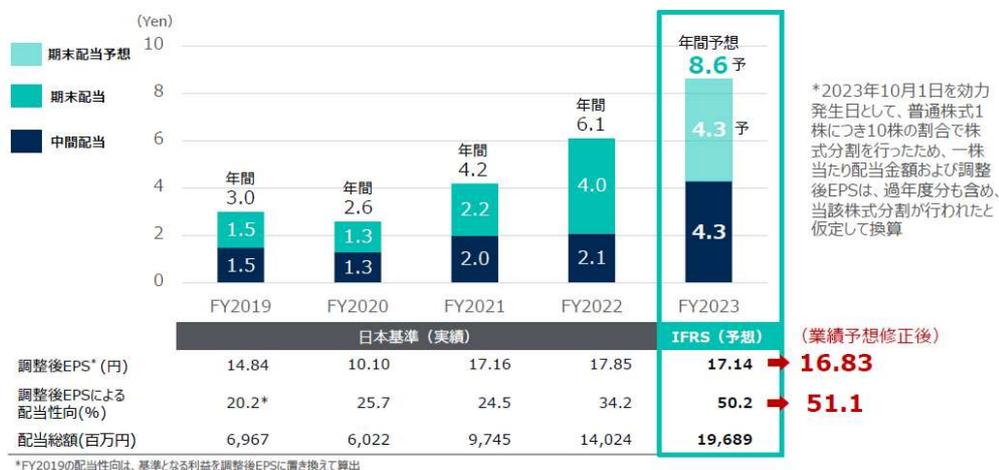
ただ、マーケットは大きく成長すると認識しておりますし、全体感、需要そのものの全体感は引き続き旺盛ですので、今後の変化にしっかりと対応していく体制を作ることが肝要だと考えております。今後マーケットが好転する際には、より一層そのタイミングを逃がすことなく積極的な対応をしていきたいと、そのための準備やマーケットの監視を積極的に進めていきたいと考えています。

FY2023 期末配当予想 (2023/10/1付け株式分割後換算)



期末配当予想は変更なし (ベースとなる調整後EPS予想は17.14円から16.83円へ下方修正)

(ご参考) 中計2026配当方針: 配当性向 約50% (対調整後EPS)



*2023年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき10株の割合で株式分割を行ったため、一株当たり配当金額および調整後EPSは、過年度分も含め、当該株式分割が行われたと仮定して換算

最後に、期末の配当予想につきましてご報告いたします。

先程ご案内しました通り、配当の予想は通期計画どおりとさせていただきます。年間8.6円、下期も上期同様4.3円を計画しております。調整前のEPSの配当性向では約65%となる見込みですが、調整後のEPSで50%、これをしっかりと還元させていただくことを考えております。

人的資本レポートの発行（2024年1月）



全文は[こちら](#)（英語版は2024年3月発行予定）

2024年1月31日に

パーソルグループ初の人的資本レポートを発行

- パーソルグループは「人的資本」である社員と派遣スタッフを価値創造の源泉ととらえており、中期経営計画2026では「人的資本」を事業成長のエンジンの一つと位置付けている。
- グループが掲げる価値創造ゴールの実現に向けて、人的資本の価値を最大化するための方針や取り組みを網羅的に記載。

グループのトピックを1つご案内いたします。

1月31日、グループの人的資本レポートを発行いたしました。

我々は人的資本が非常に重要と捉えており、人的資本である社員と派遣スタッフの方々を価値創造の源泉と捉えております。中期経営計画では、人的資本を事業成長のエンジンと位置付けておりますし、我々のグループが掲げる価値創造ゴールのこの実現に向けて、人的資本の価値を最大化させるための方向性や取り組みを網羅的に記載をさせていただきます。

当社で初めて発行させていただきました。当社グループ全体がよく分かる内容になっておりますので、ぜひ皆様もお時間あります時にお目通しいただければ幸いです。

私の方からは以上とさせていただきます。